

『セキュア・ザ・フューチャー[®]』の概要

HIV/エイズに感染した女性と子供の治療および支援

成り立ちと目的

『セキュア・ザ・フューチャー[®]』は、サハラ以南アフリカの女性と子供にまん延するHIV/エイズ危機の軽減を目的とした革新的で包括的な官民イニシアチブです。同地では、2,500万人がこの病気にかかっています。ブリストル・マイヤーズ スクイブ社とブリストル・マイヤーズ スクイブ財団は、1999年にこのイニシアチブを開始しました。

このプログラムの目的は、公衆衛生政策の周知により、HIV/エイズとSTDの感染を防止し、HIV/エイズの影響を軽減し、治療機会を拡大することです。『セキュア・ザ・フューチャー』は、アフリカでのHIV/エイズとの闘いにおいて、1社による企業活動としては初の試みであり、現在でも最大規模を誇ります。

『セキュア・ザ・フューチャー』プログラムでは、以下のような活動を行っています。

- 資源が極めて不十分な環境で地域社会のサポートと医療を統合する、地域社会に根差したモデル治療センター6か所の創設
- 約90件の医療研究と100件の地域支援・教育プログラムへの財政支援
- HIVに感染した子供を治療するクリニカル・センター・オブ・エクセレンス5か所の建設（現在、そのうち3か所が稼働中、残り2か所が建設中）
- 子供たちを治療し、現地スタッフを訓練し、チルドレンズ・センターの活動範囲を農村地域に拡張する医師をアフリカに派遣する小児エイズ医師団の編成および支援
- NGOリーダーに加え、医師、看護師、その他の公衆衛生専門家を対象とした教育・研修プログラムへの財政支援
- 10代の子供たちと地域全体を対象とした革新的な公的教育プログラムの支援
- 里親やその他の養護者向けの支援プログラム（栄養面と所得創出にかかわるプロジェクトを含む）と、孤児や弱い立場にある子供に対する支援サービスの提供

主なプログラムと成果

- **地域社会に根差した治療支援プログラム** – 南アフリカ、ボツワナ、スワジランド、レソト、ナミビア、マリに設置された実験的センターには、包括的な医学的治療およびケアを広範な地域支援と組み合わせることにより、医療やその他の資源が不十分な遠隔の貧困地域でこの病気との闘いに勝利できる可能性があることが確認されました。各センターから得られたデータによると、患者の治療成果の改善に関し、地域社会サービスに付加価値があることが初めて実証されました。これらのセンターに登録した 11,000 人を超える HIV 陽性患者のうち、5,000 人が抗レトロウイルス薬（ARV: antiretrovirals）の投与を受けており、服薬順守率は 80%を超えています。現在、アフリカ南部および西部の別の地域でも同様のプログラムを開始する計画が進められています。
- **チルドレンズ HIV/エイズ・クリニカル・センター・オブ・エクセレンス** - 『セキア・ザ・フューチャー』は、ボツワナ、レソト、スワジランドにおいて、ホスト国政府からの財政支援を得て、ベイラー国際小児エイズ・イニシアチブにより運営されるクリニカル・センターの建設および設備設置に資金を提供しました。この構想の資金提供対象に含まれるブルキナファソとウガンダのセンターは、2007 年に開設される予定です。各センターでは、子供とその家族には、多分野にわたる治療が提供され、医療専門家には、最先端のインフラと教育・研修が提供されます。
- **小児エイズ医師団** - 『セキア・ザ・フューチャー』とベイラー医科大学は、約 8 万人の子供を治療し、現地の医療専門家に研修を行うため、5 年間にわたり 250 人（毎年 50 人）におよぶ小児科医と家庭医をアフリカに派遣するプログラムを開設しました。すでに 7 人の小児科医がアフリカで活躍しており、2006 年 8 月には、第一陣の医師 50 人のうちさらに数人が活動を開始する予定です。これらの医師は、チルドレンズ・クリニカル・センターが開設されている国に配属されます。
- **BMS 財団 NGO 研修機関** – この能力構築プログラムでは、HIV/エイズ関連の活動を行う非政府組織（NGO: non-governmental organizations）と地域拠点組織（CBO: community-based organizations）におけるサポートとケアの提供に関し、組織的・個人的スキルの育成・構築を図ります。同機関では、管理、適切なガバナンス、およびリーダーシップに関し、モデル研修モジュールとベストプラクティスを設定しました。アフリカ初となる同プログラムは、現在、南アフリカ、ボツワナ、ナミビア、レソト、スワジランドで展開されています。当社では、アフリカでのプログラム拡大に向けて、米国大統領エイズ軽減緊急計画（PEPFAR: the President's Emergency Plan for AIDS Relief）と協議を続けています。
- **医療従事者向け HIV/エイズ・モデルカリキュラム** – このイニシアチブでは、ベイラー看護大学の HIV/エイズと医療専門家に関するモデルカリキュラム（現在第 3 版）の策定を支援しました。このカリキュラムは 51 か国で採用され、国連エイズ計画（UNAIDS）の支持を得ています。
- **南アフリカ医科大学の公衆衛生修士プログラム** – このイニシアチブでは、1 年間の学位または修士プログラムを提供する、遠隔学習による公衆衛生研修プログラムに資金を提供しました。このプログラムを通じて、260 人以上の専門家（そのうち 40%が保健省出身）が研修を受けました。

- **ボツワナの HIV リファレンス研究所** - 『セキュア・ザ・フューチャー』は、ボツワナとハーバード大学により共同運営されるボツワナ初の HIV/エイズ・リファレンス研究所の設立に共同で資金を提供しました。
- **CD4 計測検査** - 『セキュア・ザ・フューチャー』資金の受給者であるデビー・グレンクロス (Debbie Glencross) 博士は、手ごろな価格で、短時間で行える CD4 計測検査を開発しました。この試験は、世界保健機関 (WHO : World Health Organization) に認められ、南アフリカ国家臨床検査サービスに採用され、米国食品医薬品局 (FDA : the Food and Drug Administration) により承認されています。アフリカでは長年、モニタリング費用が治療の障壁となっていたため、この検査は重要です。
- **画期的な母子感染予防 (PMTCT : Prevention of Mother To Child Transmission) 研究** - このイニシアチブでは、出産後に予防的な ARV 療法を施すことにより、(出産前に PMTCT 薬物療法を受けなかった陽性の母親からの) HIV 母子感染を減らせることを実証した臨床研究に資金を提供しました。この実績により、グレンダ・グレイ (Glenda Gray) 博士と協力者は、保健と人権に関するネルソン・マンデラ賞を受賞しました。この研究結果は、資源の不十分な環境における PMTCT 介入に示唆をあたえるものです。
- 『セキュア・ザ・フューチャー』の資金提供を受けた 65 件の臨床研究 (大部分が現在も進行中) に関連した 600 人以上の受給者は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社員による G C P (Good Clinical Practice) に関する研修を受けています。

『セキュア・ザ・フューチャー』を通じたブリストル・マイヤーズ スクイブ社の取り組みは、1 億 5,000 万ドル規模に成長し、費用対効果に優れた革新的なモデルプログラムに関して 200 件以上の寄付金を提供しています。これらのプログラムは、診療所および家庭で HIV 感染者を支援し、医療能力とインフラを構築し、アフリカや世界中の他の地域でも再現できる持続可能なプログラムの策定を促します。このイニシアチブは、アフリカ南部の 5 か国で開始され、その後、西アフリカと中央アフリカに拡張されました。現在、このイニシアチブは、南アフリカ、スワジランド、ボツワナ、ナミビア、レソト、マラウイ、セネガル、ブルキナファソ、マリ、コートジボアール、およびウガンダに展開しています。

『セキュア・ザ・フューチャー』は、アフリカおよび米国の政府指導部、保健省、医療機関、ならびにその他の医療専門家、非政府組織、地域拠点組織、宗教団体、HIV/エイズ患者とともに独自のパートナーシップを構築して、革新的なプログラムを策定し、資金提供を行っています。各プログラムは、国家政府職員が全面的に参加する独立した現地の技術諮問委員会から推奨されました。これらのプログラムは、現地の伝統や習慣に配慮しながら、ベストプラクティスの基準を満たしつつ成果と影響を実証できるように、各国のエイズ計画に沿って実施されています。

『セキュア・ザ・フューチャー』の影響をいっそう拡大するため、当社では、資源の不十分な環境で医学的治療と地域社会プログラムを確立するための指針を策定しています。

=====

本資料は、米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社が発表しました参考資料の日本語訳をご参考までにお届けするものです。内容につきましては原本である英文が優先します。